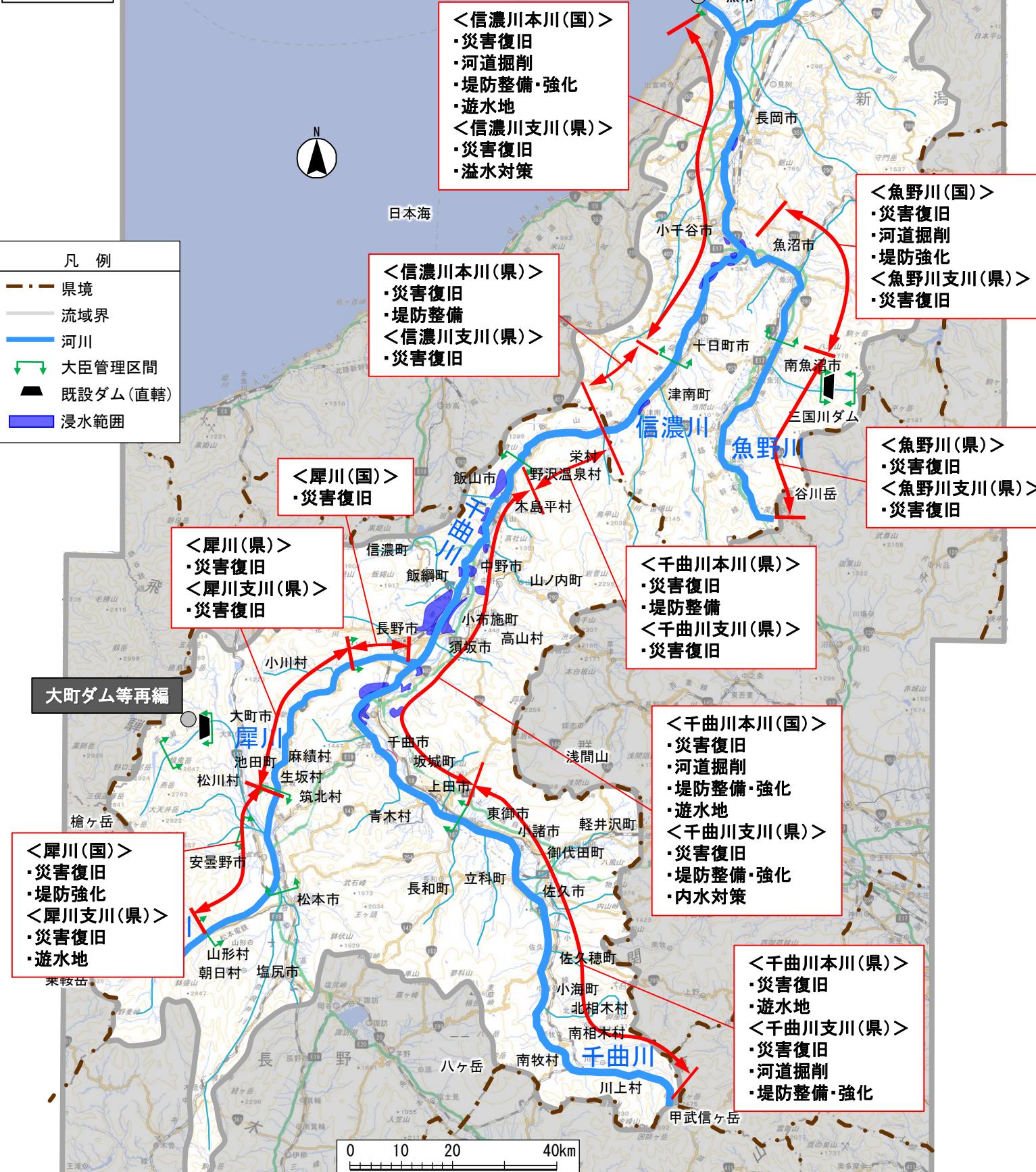


～「日本一の大河」上流から下流まで流域一体となった防災・減災対策の推進～

【位置図】



○主な対策メニュー(河川における対策)

- 被災施設等の迅速な復旧
 - ・堤防、護岸、排水機場等の被災施設の復旧
- 河川水位を低下及び洪水流下断面を向上させるための取組
 - ・遊水地等の洪水調整施設の整備
 - ・堤防整備、河道掘削による洪水流下断面の拡大
- 施設規模を上回る洪水に対する取組
 - ・危機管理型ハード対策
- 既存施設を活用した洪水被害軽減対策の取組
 - ・堤防の強化
 - ・霞堤等の遊水機能の保全
 - ・既存施設の活用検討、既存ダム等の洪水調節機能の強化
 - ・堤防等の適切な維持管理

○主な対策メニュー(流域における対策)

- 流出抑制の取組
 - ・ため池等の既存施設の補強や有効活用
 - ・田んぼダムを活用した雨水貯留機能の確保
 - ・学校グラウンドなどを活用した雨水貯留施設の整備
- 支川の氾濫抑制、内水被害を軽減する取組
 - ・支川水路における氾濫抑制等
 - ・排水機場等の整備、耐水化の取組
- 大規模災害時における迅速な復旧支援の取組
 - ・防災拠点等の整備

○主な対策メニュー(まちづくり・ソフト施策)

- 住まい方の工夫に関する取組
 - ・「まちづくり」や住まい方の誘導による水害に強い地域づくりの検討
 - ・高床式住まいの推進
- 防災教育や防災知識の普及に関する取組
 - ・マイ・タイムラインの普及
- 災害危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組
 - ・公共交通機関との洪水情報の共有
 - ・住民への情報伝達手段の強化

※大河津分水路改修と大町ダム等再編事業は、プロジェクトと並行して継続実施する。

※内容については、今後の調査、検討等の結果、変更となる場合がある。